

将来を見据えた進学を考えるイベント

はこだて仕事フェスタ・マイナビ進学ライブ2023



Copyright(c) Mynavi Corporation. all rights reserved

新型コロナウイルス感染拡大防止対策

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、以下の対策をとらせていただきます。ご協力いただけますようお願いいたします。

- 会場入場の際は、マスク着用を必須とさせていただきます。
- 会場入場時には、体温チェックをさせていただきます（37.5度以上の発熱症状がみられる方は入場をお断りさせていただきます）。
- 万が一、感染者が発生した場合に備え、来場者の連絡先を管理させていただきます。
事前登録の他、当日来場された方も受付にて連絡先を確認させていただきます。
- イベント開催時の出展者様の人数は [1ブロック：2名まで] [2ブロック：4名まで] [体験型ブース：4名まで] とさせていただきます。
- 来場者一人当たりの面談時間は10～15分を上限とさせていただきます。
- 椅子・机の追加はできません。
- ブース前での待機は [1ブロック：2名まで] [2ブロック：4名まで] とし、それ以上の人数が待機する場合には弊社スタッフにより待機列へ誘導させていただきます。
- 大きな声でのプレゼンテーションはお控えください。また、ブース前での勧誘や来場者の呼び込みを禁止させていただきます。
- 椅子、机、キーボード、マウス、タッチパネル、取手、筆記用具等、人の手が触れるものは使用ごとに消毒してください。
- 当日の資料等は極力、手渡しを避けてください。また手渡しをする場合、配布される方は必ず手袋を着用ください。
- 体験型ブース内では、以下のプレゼンテーションは禁止させていただきます。
 - ・試食、飲食物の提供（持ち帰りも禁止）
 - ・来場者に直接接触れる行為を伴うもの（マッサージ、看護実習、各種実験、運転補助等）
 - ・来場者同士が密になる行為を伴うもの（共同作業やグループでの体験等）
 - ・飛沫拡散を増加させる行為を伴うもの（歌を歌う、来場者による複数人の前での発表等）

イベントコンセプト

「6つのテーマ」と「36のキーワード」から 「学び」や「仕事」の魅力・つながりを伝える 地元自治体と連携した、体験型イベント



【概要】

高校生（特に進学を前提としている・進学を機に地元を出る学生が多い学校）に
企業や大学が取り組む社会課題や生活課題を教え、
自分の身のまわりにある課題との関連性を知ること、地元企業や学校の魅力を確認してもらいます。

自治体連動型イベントは『進学とその先の将来を考えるイベント』として、
進学で地元を離れても将来戻ってくる学生を増やすことを目的としています。

大学・短期大学・専門学校だけではなく、企業の仕事体験型ブースを設け、
仕事には必ず「学び」が関わっているという、「学び」の広がり意識させるイベントです。

未来ビューのポイント

- 「6つのテーマ」で体験型ブースを設置。課題解決の視点から、仕事や学びの魅力を訴求することが可能
- 企業や社会で働く社会人とも話ができて、進学のその先の将来も視野に入れた進学先選びが可能
- 2023年は全国8会場（札幌、旭川、函館、青森、仙台、山形、長野、浜松）で実施予定！

イベントコンセプト

仕事の体験や地元で活躍する方々とのふれ合いを通して、 地元企業の仕事や働くことの魅力を知り、将来を考える

身近な課題テーマから地元企業や仕事、大学・専門学校等での学びを体験することで、シビックプライドや生徒の職業観の醸成を図るとともに、札幌市で働き暮らすことの優位性を伝え、将来の札幌市経済を支える人材を育成することを目指す。



ご提案のポイント

- 「仕事」「地元」「大人」について高校生が興味をもって接し、学ぶことができる会場づくり
- 生徒の主体性を重視した会場構成
- キャリア教育の一環として使用できる補助ツール制作
- 2022年度から高校生が行う「総合的な探究の時間」に対応したイベント設計へ変更
- 来場者の満足度向上（生徒が効率よく回れる工夫、企業ごとに伝える内容の差を減らす）
- 会場内の混雑緩和施策

「6つの問い（= 6 Qs）」で体験型ブースをゾーン分け。
出展者様の「仕事」や「学び」を高校生が体験し、社会の課題解決に役立つものとして訴求します。

人やお金が集まる
地域にするには何が必要か

人が集まり経済的に豊かな地域には活気が溢れます。まちづくりのお手伝いをしたり、新しいビジネスを始めたり、伝統文化を支える仕事に就いたり…地域の発展に貢献する形はさまざま形があります。自分が暮らす地域の魅力や特徴をしっかりと理解し、将来何ができるかを考えていくことが重要です。

健康で安全に暮らせる
地域にするには何が必要か

人々の健康を支える医療サービスや食を支えるサービス、生活を支える基盤となるインフラ設備、障がいがあっても暮らしやすいまちや施設的设计、食料や物品を販売し届ける仕組み、リサイクルを実現するゴミ処理設備など、自分ならどんなふうに関与できるか、色々な可能性を考えてみてください。

地域の環境を守り続けるには
どうしたらよいか

急速な技術の発展、経済成長によって、私たちの生活は豊かで便利なものになりました。しかし一方で、大気汚染、地球温暖化、海洋プラスチックごみなど、地球環境の悪化が進んでいます。次の世代に豊かな地域を受け継ぐためにも、今私たちに何ができるのか、真剣に考える必要があります。

多様な人々が共に生きる
地域であるために何が必要か

誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会のことを「共生社会」と言います。これからは若者もお年寄りも、男性も女性も、障がいがある人もない人も、異なる国籍を持つ人も、すべての人がお互いを尊重し、支え合って生きていく社会を共に作っていくことが重要です。

地域の暮らしや仕事を
便利にするためにどのような
テクノロジーが必要か

私たちの暮らしをもっと便利に、快適にするために、技術革新は不可欠です。自動運転車や介護ロボットなどの登場で、社会はどんどん便利になっていくでしょう。地域や社会にあるさまざまな問題を解決するために、今後技術革新が果たす役割はますます大きくなっていきます。

地域の人々の人生をもっと豊かに
するにはどうしたらよいか

人によって求めるものは異なりますが、アートや音楽などのカルチャー、旅行や観光、美容やファッション、スポーツなどは、人生をより豊かで充実したものにしてくれます。人とのつながりも感じさせてくれるでしょう。医療が体の健康を支えるのに不可欠なように、心の健康を支えることも重要です。

「6つの問い」
（6 Qs）

6 QS : 『未来の教養教育研究会』が提起

関連キーワード

- | | | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> まちづくり | <input type="checkbox"/> 食 | <input type="checkbox"/> レジャー | <input type="checkbox"/> 伝統文化 | <input type="checkbox"/> 医療 | <input type="checkbox"/> 美容 |
| <input type="checkbox"/> 地域貢献 | <input type="checkbox"/> こども | <input type="checkbox"/> スポーツ | <input type="checkbox"/> グローバル | <input type="checkbox"/> 人材育成 | <input type="checkbox"/> AI・人工知能 |
| <input type="checkbox"/> ボランティア | <input type="checkbox"/> リサイクル | <input type="checkbox"/> IT | <input type="checkbox"/> 福祉 | <input type="checkbox"/> 物流 | <input type="checkbox"/> デザイン |
| <input type="checkbox"/> カルチャー | <input type="checkbox"/> 防災 | <input type="checkbox"/> 健康 | <input type="checkbox"/> 旅行・観光 | <input type="checkbox"/> お金 | <input type="checkbox"/> 介護 |
| <input type="checkbox"/> ファッション | <input type="checkbox"/> 農業 | <input type="checkbox"/> 教育 | <input type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> 異文化交流 | <input type="checkbox"/> 環境 |
| <input type="checkbox"/> ロボット | <input type="checkbox"/> 語学 | <input type="checkbox"/> エネルギー | <input type="checkbox"/> メディア | <input type="checkbox"/> 人権 | <input type="checkbox"/> 交通 |

* 体験ブース出展者様のゾーンの選び方 *

- 「6つの問い」から出展ゾーンを選択（1つ）
- ↓
- 「関連キーワード」を選ぶ（複数選択可）
- ↓
- キーワードに沿った業務・研究・取組で高校生に体験していただく。

開催日時・場所について

開催日時 2023年9月8日(金) 10:00～16:00

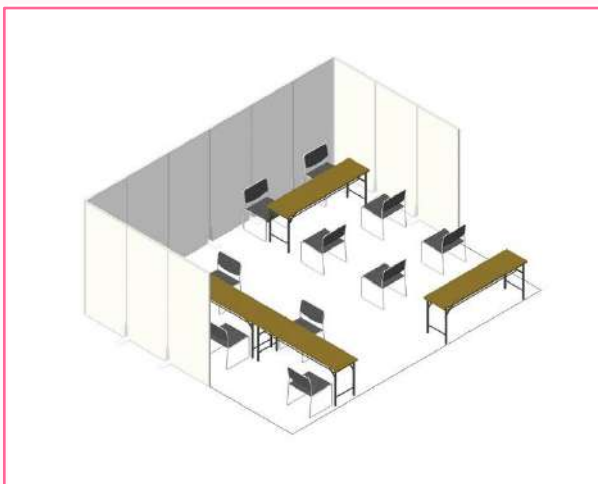
※開催時間は予定であり、今後変更の可能性があります。

開催場所 会場名：函館アリーナ

イベント内容 大学・短大・専門学校個別相談コーナー
学校の学び・地元企業の仕事体験できる体験型コーナー



「体験型ブース」／「職業紹介コーナー」



◆体験型ブース

- サイズ : W4500mm×D2700mm×H2100mm
 基礎備品 : バックパネル W4500～5400mm×D2700×H2100mm
 会議テーブル 4本
 パイプイス 10脚 (出展者様 4脚 来場者 6脚)
 校名看板 1枚 フェイスガード 4枚 (出展者様用) 、除菌シート
- 出展可能人数 : ※最大4名までとさせていただきます。
 電源利用 : 1セット2個口 (500Wまで利用可)
 電源の利用はシステムから事前申請が必要です。使用電気機器と電力量をお知らせください。

レンタル備品

有料で備品のレンタルが可能です。備品のレンタルは進学イベントサポートページ*上でお申込が可能です。事前申込にてご注文くださいますようお願いいたします。

* 各イベントへの御申込後に、マイナビ進学イベント事務局より出展者様専用管理画面へのURLをご案内させていただきます。



カタログスタンド (自立式)
 (8,000円)
 w450×d390×h1243
 ※自立式：A4サイズのラック



スポットライト (アーム式)
 (5,000円)



スポットライト (クリップ式)
 (5,000円)



液晶プロジェクター
 (2000アンシルーメン)
 プロジェクター (2000ANSI)
 (100,000円)
 ※上記以上の性能も用意可能です。



プロジェクター台 (6,000円)
 幅687mm×奥行460mm×高さ860mm



ポータブルスクリーン (大)
 (15,000円)
 ロールアップ式：スクリーン部
 W1800mm×H1000mm



ポータブルスクリーン (小)
 (10,000円)
 ロールアップ式：スクリーン部
 W1200mm×H900mm

※その他にも多数ご用意できますので営業担当までお問合せください。

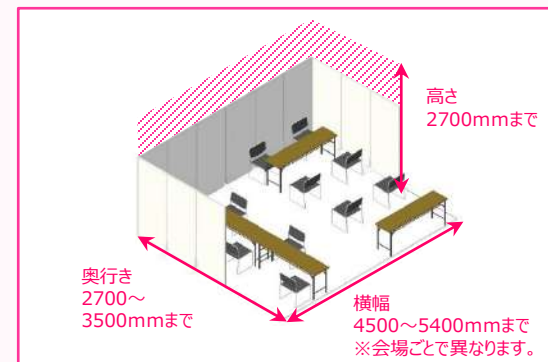
ブース運営規約

体験型ブース

- ・ ブースエリア内・外問わず高校生への勧誘はご遠慮ください。
※ブースエリア内とは右図の装飾可能範囲のことを示します。
- ・ 自ブースエリア範囲を大きく越えた展示・装飾は禁止とさせていただきます（エリアは右図参照）。
- ・ ブースエリア内での装飾であっても、来場者のソーシャルディスタンスを妨げている場合は、運営事務局より撤去のお願いをさせていただく場合がございます。
- ・ 来場者の視認性を確保するため、校名看板が隠れるような装飾はお控えください。
- ・ ブース壁面パネル上に、映像機材等の重量が重いものを吊り下げることができません。
- ・ 背面に向けて装飾することは、後ろのブース出展者の装飾物と混同する恐れがあるため禁止させていただきます。
- ・ ネジ・釘等、ブース壁面パネルに穴の空くものを使っての装飾は禁止させていただきます。
- ・ ヘリウムガスの利用は禁止させていただきます。
- ・ 個別相談ブース、職業紹介コーナーでの実演及び体験行為は禁止とさせていただきます。
- ・ ブース以外の場所での面談・宣伝等は原則として禁止させていただきます。
- ・ 他の出展者様を誹謗・中傷するような行為は行わないでください。
- ・ 他社進学サイトや冊子等の媒体の紹介や誘導は禁止とさせていただきます。
- ・ 進学に関係のない広報物、金品、サンプル等の配布を含むプレゼント・販売行為はお断りしております。
- ・ 食品・飲食類のサンプリングは、禁止とさせていただきます。
- ・ ブース内での食事はお断りしております。お食事の際は所定の場所をご案内させていただきますので、スタッフまでご相談ください。
- ・ その他、運営事務局が禁止行為と判断した場合は、その都度中止いただく場合があります。

■ 各企画ごとの装飾可能範囲

■ 体験型ブース



体験型ブース運営に際しての注意・禁止事項

体験型ブース

- 鍼灸、マッサージなど資格の要不要を問わず医療行為に該当する行為を高校生、および来場者に施術することは禁止とさせていただきます。
- 理容、美容、メイクなどの美容行為を高校生本人に行うことは禁止とさせていただきます。
 ※マネキンへのヘアアレンジ、メイク、ネイルなどは可能ですが、体験の際は参加者にゴム手袋を着用させてください。なおゴム手袋はご出展者様にてご用意ください。
 ※貴学学生同士による実演の場合は禁止事項に該当しません。
- 刃物類（包丁、カッター、のこぎり、なた、その他刃物）を使用した体験は禁止とさせていただきます。
 ※カンナ等の木工系工具の使用を検討している場合、事前に運営事務局までご連絡ください。
- 裸火の使用、煙が発生するような体験はイベント会場の規約に則り原則禁止とさせていただきます。
- ヘリウムガスなどを使った浮遊性のある風船、火器、有害物質、爆発物の持ち込みは禁止させていただきます。
- 液体を使用する体験の場合、ブース内床面に養生が必要となります。養生につきましては、ご出展者様にてご準備ください。なお、有毒物質、爆発物など、危険物と称される液体、物質を用いた体験は禁止とさせていただきます（アンモニアなど刺激臭の強い薬品、液体窒素など）。
- 大きさ、種類を問わず動物、昆虫の触れあいなどの体験は禁止とさせていただきます。
 ※持ち込み展示については要相談。
- マイクセットなどの音響機器、打楽器、工具（金槌、木槌）の持込による大きな音の発生する体験は、周囲のご出展者様の迷惑となるため禁止いたします。
- 販売行為は禁止いたします。
- 試食、飲食物の提供（持ち帰り含む）は禁止とさせていただきます。
- 来場者に直接触れる行為（マッサージ、看護実習、各種実験、雲煙補助等）は禁止とさせていただきます。
- 来場者同士が密になる行為（共同作業やグループでの体験等）は禁止とさせていただきます。
- 飛沫拡散を増加させる行為（歌を歌う。来場者による複数人の前での発表等）は禁止とさせていただきます。

その他、運営事務局が不適切、危険と判断した内容は禁止させていただきます。